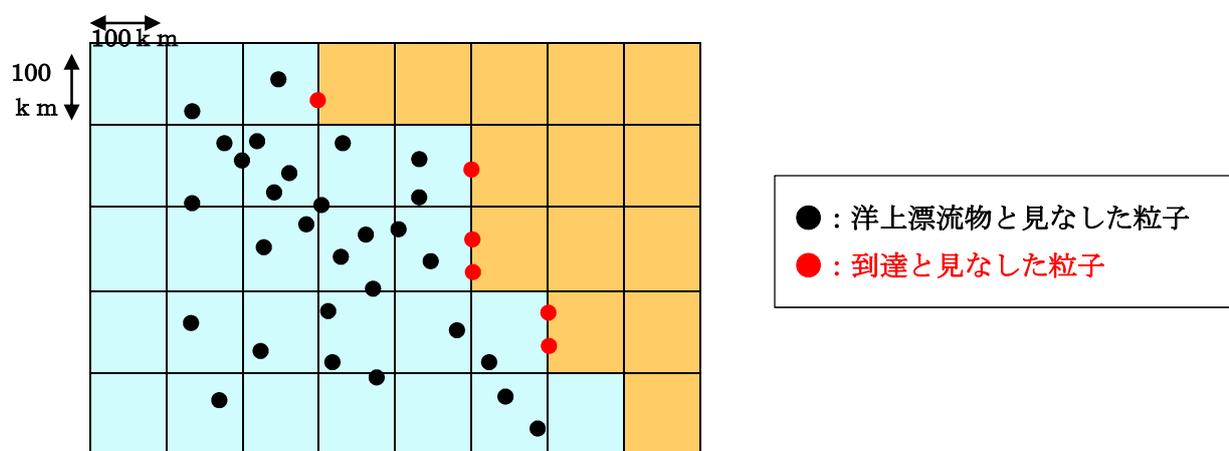


2012年10月、12月、2013年2月、4月及び6月時点での洋上漂流物の北米大陸の西海岸への到達量（試算）



● : 洋上漂流物と見なした粒子
● : 到達と見なした粒子

○ 以下の条件にて、当省において独自推計したところ、2012年10月、12月、2013年2月、4月及び6月時点における北米大陸西岸への到達量は、表1のとおりである。

<条件>

- ・ 標準漂流物（家屋が壊れて生じた板等）のケースで試算。
- ・ 漂流物の全体の量は、当省の総量推計結果より 1,330,000 t（「家屋等」のうち漂流ごみ分）と仮定。
- ・ 北緯35度から北緯55度までの北米大陸西海岸を対象とした。
- ・ シミュレーションの結果から、「北米大陸西海岸の海岸線を越え陸域側に存在する粒子数」と「流出させた総粒子数」の比を算出し、その比を上記総量推計結果と乗算することで、西海岸に到達する漂流物の量を推計。
- ・ 北米大陸西海岸に到達する洋上漂流物量の推計値は表1のとおりとなった。

※漂流物が海岸に漂着するためには、その時々^々の風況や沿岸流等の条件が必要となるため、下記到達量推計値は、北米大陸西海岸への漂着量の推計とはならない。

※また、当省の総量推計によると、海面上漂流物①及び②に該当する漂流物の量は、ごく少数であると考えられる。

表1

	2012/10	2012/12	2013/2	2013/4	2013/6
漂流物の到達量(t)	70 t	290 t	3,200 t	14,000 t	33,000 t